



▲加西インター産業団地計画地

2月15日、加西インター産業団地整備事業の第1期事業のうち1-1・2・4工区について、事業のスピードアップを目的として、ジオプランナーズ(株)(神戸市)を1-1工区の、タカセ不動産(株)(大阪市)を2・4工区の事業協力者として選定し、それぞれ市と官民連携協定を締結しました。

これまでの、3月末にリスパック(株)に引渡しを予定している1-2工区のように、進出企業が決定した工区を1つずつ順番に市が単独で整備するスキームで進めておりました。

今回の官民連携協定に基づき、続く1-1・2・4工区は、事業協力者の資金とノウハウの活用によって、市の財政負担を軽減しながら全工区を同時に着手することが可能となりました。

今後は、市と事業協力者との共同事業として、全工区で用地買収、造成工事、企業立地などを同時に実施することになります。市としては、従来スキームよりも早期の雇用創出、地域経済活性化が実現すると期待しています。

ジオプランナーズ(株)橋本社長は「東は近畿中部、西は中国四国をカバーする経済拠点となるポテンシャルを持っている。この産業団地を今後の加西市の起爆剤としたい」、タカセ不動産(株)高瀬社長は「創業者は朝妻町出身。加西市の発展に特別な思い入れがある。事業協力者として雇用創出、定住促進の実現に向けて懸命に努力したい」と話されました。

西村市長は「財政負担を軽減し、官民連携で事業の加速化を図る。この事業が完成したら加西市の様相が大きく転換することになる」と話しました。



▲左から橋本社長、西村市長、高瀬社長



▲第4回加西能
「天鼓（てんこ）」

第5回加西能を開催します。人間国宝の大槻文蔵さんや野村萬斎さんなど日本を代表する能楽師による講演と、一生懸命お稽古に励んだ加西市こども狂言塾の塾生が新作狂言「根日女」を演じます。ぜひご覧ください。鑑賞には一部チケットが必要です。

- 開催日／5月4日（火・祝）
- 場所／市民会館文化ホール
- 内容／第一部（無料）新作狂言『根日女（ねひめ）』
第二部（有料）狂言『棒縛（ぼうしばり）』
能『国栖（くず）』

※会場ではマスクの着用、手指消毒等、感染症対策へのご協力をお願いします。

■チケット販売（全席指定）

- 発売日（予定）／3月1日（月）から
- 座席料金／前売券：一般3,500円 高校生以下500円
※当日券は一般のみ500円増
- 販売場所／市民会館、地域交流センター、イオン加西北条店、西村書店、チケットぴあ、ローソンチケット
- チケットの問合せ先／市民会館 ☎④ 0160
- 加西能の問合せ先／文化・観光・スポーツ課 ☎④ 8756

※新型コロナウイルス感染症の状況から、指定座席の変更をお願いする可能性があります。あらかじめご了承ください。

狂言『棒縛（ぼうしばり）』

演者／野村萬斎、高野和憲 ほか

あらすじ／留守番をさせると、いつも酒を盗み飲みする召使い、太郎冠者と次郎冠者。困った主人は、出掛ける際にうまく二人をだまして、一人の腕を棒に縛りつけ、もう一人も後ろ手に縛ってしまいます。それでも二人は、縛られた身で蔵へ忍び込み、酒を持ち出し飲み始めます。縛られたまま舞ってうたったの宴会となってしまう…。棒に縛られても酒を飲みたいと思う酒飲みの心理と酒宴の場面の楽しさが描かれた狂言です。



野村萬斎

能『国栖（くず）』

演者／大槻文蔵（人間国宝）

観世鍔之丞（加西市能・狂言プロジェクト特別顧問）ほか

あらすじ／帝が親族に襲われ、お供の者と吉野の山中に逃げ、川沿いの民家で休んでいました。そこに、その家に住む老夫婦が戻り、帝を家にかくまうことを決めます。老爺（ろうや）は、機転を利かせて敵の追手を追い返し、帝は夫婦にねぎらいの言葉をかけ、夫婦は涙を流し感激します。夜になると、老夫婦は消え、代わりに天女が現れ、舞を舞います。その音楽に引かれるように蔵王権現が姿を現し、威光を示して将来の帝の御代を寿ぐのです。



大槻文蔵

第1期生 小久保澤さんが塾生へマスクを寄付

こども狂言塾第1期生小久保澤さんより「お世話になった加西市こども狂言塾に少しでも恩返しをしたい」と、この度マスクの寄付をいただきました。受け取った塾生たちは先輩の心遣い大変喜んでいました。いただいたマスクは、こども狂言塾で大切に使用させていただきます。



◀塾生にマスクを寄付する小久保さん